

(令和5年 2023年 3月値・要約版)

この調査は、経営者のみなさまが、経営状況の分析や事業計画策定に活用することを目的として作成しました。たつの市及び西播磨地域が、全国と比較してどのような特徴があるのかを分析しています。詳細はたつの市商工会HPで公開しています。

(データ出先：小規模景気動向調査、兵庫県中小企業景況調査、西播磨地域景況調査、たつの市商工会景況調査)

産業全体の景気動向の推移

〈用語説明〉DI値＝「好転」企業割合から「悪化」企業割合を差し引いた値を示す
(調査事業所4、「好転」事業所1、「悪化」事業所3なら、25%-75%=-50%がDI値)

＜概要＞

最新の日銀短観(2023年3月)の調査結果によると、中小企業の業況判断DIは「先行き」に関しても特に非製造業での悪化が見込まれており、物価上昇など背景としたコスト増、それにとともに需要減などが懸念されている。今後も引き続き中小企業に対する支援、サポート体制の強化・継続が望まれる。

＜地域別＞

全 国

2023年1～3月期の全産業における業況判断DIは、▲23.3(前期差4.4pt増)となり、前期から回復。製造業の業況判断DIは、▲24.3(前期差7.6pt増)となり、前期から回復した。

建設業の業況判断DIは、▲25.0(前期差2.9pt増)となり、前期から回復した。商業の業況判断DIは、▲31.2(前期差4.9pt増)となり、前期から回復した。サービス業の業況判断DIは、▲12.5(前期差2.2pt増)となり、前期から回復。前期に比べて全体的に回復しているが原材料高騰は依然として続いており、思うように収益確保が出来ていない。

兵庫県

企業の業況判断は足もと改善し、先行きは悪化すると見込んでいる。個人消費は持ち直している。輸出は増加しており、設備投資は減少計画にあるものの堅調である。生産は持ち直しの動きとなっている。有効求人倍率は前月を下回り、雇用者所得は弱めの動きとなっている。

倒産件数は前年を上回った。

西播磨

西播磨全体の業況は、▲20.6(前期差11.3pt増)となり、前期から回復。売上高は、▲13.2(前期差12.2pt増)となり、前期から回復した。採算状況が、▲33.8(前期差11.1pt増)と回復、資金繰りは、▲24.3(前期差6.9pt増)となり、前期から回復した。来期は、▲15.4(前期差26.6pt増)で回復する見込みとなっている。全国と同様に回復傾向となっている。

たつの市

たつの市の業況は、▲30.8(前期差4.8pt減)となり、前期より悪化。売上高は、▲26.9(前期差2.9pt減)となり、前期より悪化、採算状況は、▲48.1(前期差0.1pt減)となり前期から悪化した。資金繰りは、▲17.3(前期差10.7pt増)となり、前期から回復した。来期は▲15.4(前期差12.6pt増)で回復するとの見通しとなっている。

前期に引き続き、原材料の高騰による仕入値や商品価格の改定が次々となされ、各業種においても価格転嫁出来ない事が経営を圧迫しており、先行きが見通せない状況が続いている。

＜業種別業況＞

全国的には、3月期の産業全体の業況は、アフターコロナに向けた人流の増加から、全DIが改善し、2期連続の改善となった。マスク着用義務がなくなり、催し等が制限なく開催され始めたことや、インバウンド需要が景況感を向上させた。一方で需要が活性化していても、コスト高騰が採算を圧迫し続けており、コロナ禍で膨らんだ借入の返済や、人手不足の深刻化等、依然として小規模事業者を取り巻く環境は厳しく、持ち直しの動きは鈍い。

＜総括コメント＞

国内景気は、一部に弱さがみられるものの緩やかに持ち直している。先行きについてはウィズコロナの下で各種政策の効果もあって景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。

また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

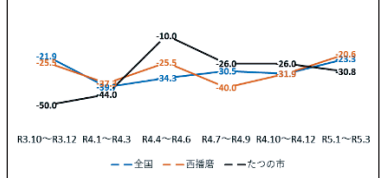
たつの市においては、人流が多い地域柄であるが新型コロナウイルス感染症の第5類への引き下げに向けて事業者においては早急な経営の立て直しと合わせ、政府の経済対策(小規模事業者持続化補助金・ものづくり補助金・事業再構築補助金等)も十分に活用しながら事業継続への取り組みを引き続き積極的に行う必要がある。

管内の雇用情勢

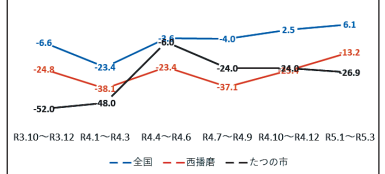
〈用語説明〉有効求人倍率 = 求人数 ÷ 求職者数
(仕事20件 求人応募者10人 なら 2.0倍)

令和5年3月期の有効求人倍率は、全国1.32倍、兵庫県1.01倍、龍野管内1.03倍となっている。海外需要の先行き不透明感などを背景に、製造業を中心として採用に慎重になる企業の動きが表れた。たつの市は減少傾向であるが、兵庫労働局は足元の雇用情勢についての判断を据え置き「求人が求職を上回っているものの、持ち直しの動きにやや弱さがみられる」とした。

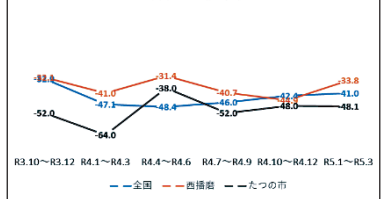
業況DI値推移



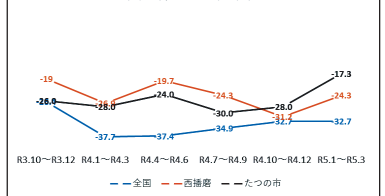
売上DI値推移



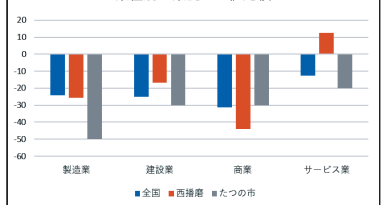
採算DI値推移



資金繰りDI値推移



業種別 業況DI値比較



有効求人倍率推移

